

日 時	平成 24 年 1 月 6 日(金) 18:00～20:00	
場 所	みんなの学校	
参加メンバー (敬称略・順不同)	吉本昌純 橋本雅史 笹尾恭子 堀内省吾 玉井寛章 川島寛子 今回から参加の方 豊田泰史 (弁護士) 長尾正剛 (建築士) 岩橋典久 (和歌山県ホームヘルパー協会理事・和歌山市地域福祉計画協議会委員) 計 9 名	
議 案	<ol style="list-style-type: none"> 1 今回より参加メンバーの自己紹介 2 本日の資料の確認と前回の簡単な説明 (川島) 3 2015年の国体を目指としたタイムスケジュールの報告と質疑応答 (橋本) 4 和歌山城の登閣者数の報告 (堀内) 5 意見交換 	

【議案 1 について】 参加者メンバーより

【議案 2 について】 本日の資料は次の 2 点

資料 1 和歌山城バリアフリープロジェクトのスケジュール表

資料 2 第 1 回議事録

【議案 3 について】 スケジュール説明 資料 1 (担当 橋本)

「国体開催の 2015 年 10 月から逆算、恒久的なものとなると本格的な公共工事となる可能性が高いので 2013 年の 10 月議会へ掛ける必要があります。それまでに和歌山市・県・文化庁の申請やら協議期間を考えて逆算していくと本年 3 月からスタートしなくてはならないと思います。ただ、現在設置されている仮設スロープは単年度事業のため和歌山市の判断のみとの事。このような形体ならば「ぐっ」と期間が短縮できると思います。」

【議案 4 について】 和歌山城の登閣者数の報告 (担当 堀内)

平成 22 年度 160,063 名 平成 23 年度 (2 月 3 月は除く) 128,592 名

【議案 5 について】 全体を通しての意見交換

- ・ 恒久的なものをイメージして設計案を考えてはどうか？ (コンクリートや鉄鋼も使用)
- ・ 材質に和歌山ならではの木材を活用してはどうか？
- ・ 姫路城は平成の大修理をみんなに見てもらおう機会の提供として、エレベーターやスロープの設置を行っているが、文化庁への許可申請はこの修理が終了する迄である。(毎年架設ということでの許可申請) 修理終了の時点で利用状況・希望等を考慮し今後バリアフリーをどのようにしていくか考えるというのが姫路城管理事務所の方の意見。しかし、姫路城の学芸員の一部は今のようなスロープがある景観には反対意見を持っているとのこと。
- ・ 当会は国体を目指して許可申請を行っていく。
- ・ 仮に仮設スロープが残されても、全ての人が見えるように開放されなければ意味がない。
- ・ スロープは、障がいを持った方だけでなく、荷物を抱えた旅行者や、ベビーカーを担いで登る親子、高齢者など、みんなに優しくなくてはならない。

- ・ 開放されたとしても、駿河台手前のスロープは傾斜も強く「誰でも自由に手軽に」という目的の実現にはならないのではないかな？
- ・ 表坂以外でスロープの設置場所の可能性も考えてはどうか。
- ・ 和歌山城内の正確な測量地図があるかどうか調べる。(担当 堀内)
- ・ 実現にむけての資金はどうするか？寄付や助成金も考えてはどうか？市からの予算はとれるのかな？
- ・ 市が動かなくても自分たちで集めていく！という気概が必要ではないかな。
- ・ スロープの設置実現と共に、和歌山城の「あったらいいなと思うもの」「改良すべきハードとソフト」などを考えていくことも必要だと思う。スロープの設置にはかなり高いハードルがある。目的はスロープ設置であるが、市民・行政・学校・企業などすべての垣根をとりはずし、スロープ以外でもみんななで「みんなに優しい和歌山城」「和歌山城から始める観光都市和歌山」を具体的に考えそれぞれが得意は分野で関わっていく。このような大きな動きにしていくことがスロープ実現に繋げていけるのではないかな？
- ・ 次回までの宿題として、和歌山城に必要なハード・ソフト・コンセプトなどの提案を一人最低 1 つ以上考えてくること。 (写真が必要な場合は堀内・玉井が用意する)
- ・ 3月からの具体的な動き (マスコミへの発信・学校や企業や団体・個人への協力依頼) のために「趣旨書」を作る必要がある。(次回までに笹尾と川島でたたき台を作る)
- ・ 会の名称を 和歌山城から始めよう！「人に優しい和歌山城を作る会」とする。
- ・ 事務局作業は川島が行う。
- ・ 会則や代表は会の設立趣旨をより具体的、明確にし、様々な方に協力を呼びかけてから決める。
- ・ 定例会の日程の確認と変更

毎月第 1 金曜日 18 : 00 ~ 20 : 00 位

場所は次回から和歌山市寄合町のボランティアサロンで行う。

今回は 平成 24 年 2 月 3 日 (金曜日) 18 : 00 集合になります。

ボランティアサロンの場所の地図は以下の HP にてご確認ください。

http://www.city.wakayama.wakayama.jp/menu_1/gyousei/npo_volunteer/index.html

次回提案事項

川島より 「人に優しい和歌山城を作る会」の名称の一部変更についての提案
「人」を「みんな」にする

橋本氏より 「人に優しい和歌山城を作る会」の表現についての提案
「優しい」を「やさしい」に、「作る」を「つくる」にする

↓

和歌山城から始めよう！「みんなにやさしい和歌山城をつくる会」